

名草小学校 食育標語

「よくかんで、残さず食べよう最後まで」

平成23年度は全国にたくさんの災害をもたらした年でした。その時の苦労や心配事は、だんだんとうすくなりつつもあります。一番困ることは、人間の命の源となっている食べ物がなくなる時ですね。そんなことを考えたことがありますか？・・・今年度の食育標語で児童が考えた標語の中には、私たちに食生活の中で、立ち止まって考え直さないといけないことがたくさんあると思います。

調理員さんの心



① 朝、たくさんの新鮮な食材が調理室にどどけられます。調理員さんたちは、野菜に傷をつけないように丁寧に包装からだし、食べられない部分を取り除いて洗っていきます。洗うときも、土を落としたり、ごみをとりのぞいたり、虫をとりのぞいたり1つ1つを丁寧にみながら洗ってくれています。



にんじんは、ただいま収穫中の布引のにんじんです。

②③の写真は、にんじんの食べられない部分を取り除いてくれています。②下手をとって③は下手を落とした後、堅い芯の部分を取り除いてくれています。

毎日、たくさんの食材を無駄なく丁寧に調理してくださっています。

6月20・21日に4年生の児童が、給食室のゴミの様子を見学に来てくれました。

キャベツの芯の部分を見て・・・

「わーすごいな」

「まいにち毎日たいへん」

「たまねぎで目がいたいよー」



「いえ家の切り方がちがう」

「きれい」

「ほんまに固い部分だけやわー」

「どうしたらこんなに切れるんやろ」

調理を経験している児童も、していない児童もそれぞれに学ぶことの大変さや調理の工夫を学んでくれました。

給食委員会では・・・毎日、給食後に各学級の残量調べをしています。



たくさん残ってくると、「もったいないな〜」完食の時は、「気持ちいいね！」など、それぞれに感じた気持ちを言葉にしながらいりよう計量しています。最近は、残食も減ってきています。残食の多いのは献立の中でも酢のものやサラダなど野菜を多く使った献立が目立っています。野菜には、体に良いことがたくさんあります。ご家庭でも野菜をしっかり食べましょう。

☆食べ物の命や調理員さんの作ってくれている方達の気持ちを大切にしたいですね！